

**冷却塔ファンの締付けトルクを間違え ブレードを破損させた****【発生状況】**

冷却塔ファンブレードの取替にて、A号機のファンブレードを締付けようとしたが、図面や保全記録がなく締付けトルクが不明だったため、B号機の記録を基に締付けを行った。

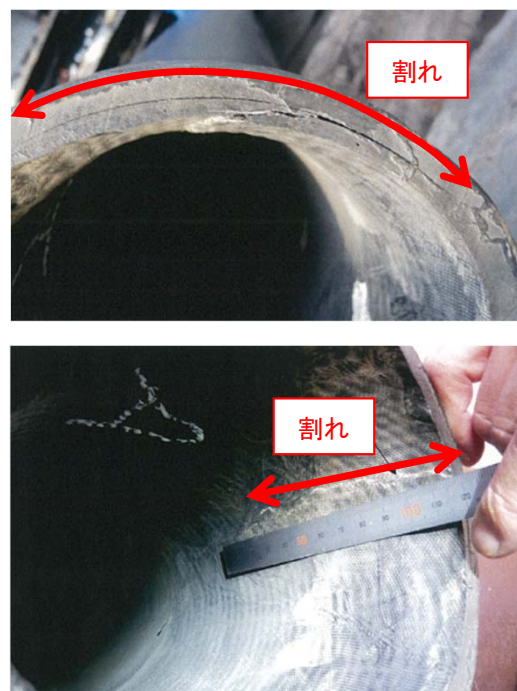
結果、A号機とB号機では締付けトルクが異なっており、過大トルクでブレードを破損させた。

※トルク:176Nで締付けるところを、650Nで締め付けた。(3.7倍のトルク)

【 損傷状況 】



【 損傷部詳細 】

**【原因・問題点】**

- ①締付けトルクが不明であったが、客先へ確認せずに自己判断で別号機のトルク値を採用して締付けを行った。(A号機とB号機ではブレードの形状が違うためトルクも異なっていた)
- ②トルクの重要性に関する認識が不足していた。

**【対策】**

- ①作業手順や方法が分からない場合は、自己判断は行わず 監督や客先へ確認した上で作業を行う。